

平成 27 年度第 1 回地方委員会を開催

はじめに

地方委員会は昨年度より活動をスタートし、北海道の各地方における研修会・講演会等、事業の企画、立案、実施について、各地方同士ならびに北海道本部と情報の交換・共有を目的としています。

今回、平成 27 年度の第 1 回地方委員会を去る 6 月 10 日(水)午後、年次大会が開催される前に開催しましたので報告します。

1. 地方委員会議題

今回の地方委員会では、次の議題について意見交換が行われました。

(1)各地方技術士委員会からの報告・意見等

(2)平成 27 年度の主な行事スケジュール

(3)建設コンサルタンツ協会の新 CPD システム

出席者は以下のとおりです。

■地方委員会 永澤 道央技術士委員会代表(以下、技術士委員会省略)、布村 道南代表、紅葉 道東代表、清水 道東幹事長、高桑道北代表、橘オホーツク代表

■北海道本部 能登本部長、中野・大熊副本部長

■事務局 森事務局長、羽二生・長井事務局次長

(1)各地方技術士委員会からの報告・意見等

議事に先立ち地方委員会委員長の交代について報告があり、前期委員長であった布村代表と今期委員長となる紅葉代表よりご挨拶がありました。

その後、各地方技術士委員会からの報告があり、主な内容は以下のとおりです。

- ・倫理に関するセミナーを検討。(道央、道北)
- ・新規見学会の開催など検討したい。(道東)
- ・(一社)建設コンサルタンツ協会が認証する RCCM の資格において更新登録時に必要な

CPD 単位数が増えることに対し、CPD 機会の創出が望まれている。(道南、オホーツク)

(2)平成 27 年度の主な行事スケジュール

平成 27 年度の北海道本部の主な行事スケジュールについて報告がありました。来年、北海道本部が創立 50 周年を迎えることから、地方への早期の開催アナウンスや記念事業への協力依頼がありました。

(3)建設コンサルタンツ協会の新 CPD システム

前述の各地方からの報告にもあるとおり、RCCM 登録に必要な単位数の改定について報告されました。具体的には以下のとおりであり、平成 28 年度からの年間 50 単位取得が目安となります。

年度	更新登録等に必要な CPD 単位数	CPD 単位の年間取得目安
H27	4 年間で 100 単位以上	25 単位
H28	4 年間で 100 単位以上	50 単位
H29	4 年間で 100 単位以上	50 単位
H30	4 年間で 100 単位以上	50 単位
H31	4 年間で 100 単位以上	50 単位
H32	4 年間で 200 単位以上	50 単位

会議では、RCCM 資格保有者は技術士を目指す方も多いことから、日本技術士会として CPD の機会を増やすことは重要との確認がなされました。

おわりに

地方委員会の活動により、各地方技術士委員会がお互いの状況を確認し、良い取り組みは自身の組織へ反映してみようという機運が高まってきました。

今回の会議においても、地方委員会のメーリングリストを作成することとなり、活発な交流が期待されます。今後も、各地方技術士委員会と北海道本部との連携を図り、オール北海道として日本技術士会活動に取り組んで行きたいと思います。